

いま、挑戦する。美郷大学

★美郷大学とは

平成３年度から「長寿大学」の名称で始まり、平成２３年度から「美郷大学」に名称を変え、永きにわたり実施している事業です。主として５５歳以上の方を対象としています。

新たな生きがいの発見、社会・地域貢献意欲の向上、新たな仲間作りの場となり、より豊かな人生を送っていただくきっかけ作りになることを目指しています。１年間（１０ヵ月）、様々な教養講座やお楽しみ講座を受講していただきます。

過去の卒業生の中には、現在でも同期生で集まり、趣味を楽しんだりイベントへ参加されたりしている方々もおられます。

平成２８年度は１１名の受講生のみなさまとともに、これまで１９回の講座を開催しました。回を重ねるごとにお互いに打ち解け、学習とともに仲間作りが進んでいます。



★平成２９年度美郷大学の受講について

現在、教育委員会、大和事務所、社会福祉協議会、各交流センターにおいて入学案内・願書を置いています。受講を希望される方は、美郷町教育委員会窓口まで願書をお持ちいただくか郵送していただきますようよろしくお願いいたします。

美郷町立図書館みさと本の森からのお知らせ みさと館のご利用について



みさと館の研修室等をご利用になる際には、事前の予約と申請書の提出が必要です。
上記手続きおよび、当日の鍵の貸出については、下表のとおり受け付けております。
※使用される曜日、時間帯によっては場所が異なりますのでご注意ください。

みさと館 鍵貸出受付窓口 日程表

	～7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00～
月												
火												
水												
木												
金												
土												
日												

■ 宿直室 ■ 教育委員会 ■ 図書館

※曜日に関わらず図書館が休館日の場合は火曜日と同じ日程です。

※祝日等で役場、図書館共に休館の場合は終日宿直室で鍵を管理いたします。

部屋を使用された後は清掃していただき、後日お送りする納付書にて使用料をお支払いください。

その他詳しいお問い合わせは美郷町立図書館で承っております。

TEL ０８５５－７５－１２７０ FAX ０８５５－７５－１１９０

平成２８年度

美郷町教育委員会だより

第２号

平成２９年２月１５日発行



こんにちは、美郷町教育委員会です。まだまだ寒い毎日が続きますが、地域の皆さまへ様々な学びの場を提供できるよう、スタッフ全員、熱く教育のことを考え、温く事業を展開していきたいと思っています。その学びが皆さま自身そして地域の力となっていけばと思っています。



平成２９年２月４日（土）、島根県教育魅力化特命官の岩本悠氏を講師としてお招きし、みさと館で「第２回ふるさと美郷の人づくり・まちづくりフォーラム」を開催しました。“教育”や“まちづくり”に関係のある、または興味をお持ちの８０名の参加者全員で、「教育魅力化と地方創生」をテーマに美郷町の未来について考えました。

グループ協議では心が熱くなるような素晴らしい意見がたくさん聞かれました。これが“ただの話”で終わらないよう、教育委員会では、①「学校と地域の連携体制の発展的な充実」、②「地域における多世代を対象とした教育活動の展開」を進めていきたいと思っています。

今回のフォーラムでは「子どもが“本気の大人”に出会うこと」の大切さについて話題になりました。「未来を担う人づくり」のため、皆さま方には引き続きご支援・ご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

公営塾「美郷町学習支援館」でがんばっています！

中学生を対象にした公営塾「美郷町学習支援館」。開館から３年が経ちました。

以前は学校以外での学習時間が少ない美郷町の子ども達でしたが、学習支援館の開館後、平日に１時間以上家庭学習（塾なども含む）をする生徒は島根県の平均を１２％上回りました。【平成２８年度島根県学力調査より】

先日、学習支援館での学習の様子を見に行きました。積極的に講師の先生に質問する生徒や黙々と課題に取り組む生徒など、とても集中して取り組んでいました。特に中学校３年生は高校受験目前。自分の目標に向かって精一杯がんばっています。



美郷町人権・同和教育推進協議会 今年度の取組

公開講演会を
5回開催!!

第1回(6/22) みさと館

◎講師 中尾由喜雄さん
(全国隣保館連絡協議会)
◎演題 「人と人がつながる
まちづくりに向けて」



◎参加者数 119名

【参加者の声】
自分の生き方を問いた
だすことの大切さを学び
ました。

第2回(8/3) みさと館

◎講師 北出新司さん(映画出演者)
◎映画上映と講演
「ある精肉店のはなし」



◎参加者数 108名

【参加者の声】
参加して良かった。力強
く、温かい生き方に涙し
ました。ありがとうございました。

第3回(8/28) みさと館

◎講師 寮美千子さん(作家・詩人)
◎演題 「詩が開いた心の扉」



◎参加者数 119名

【参加者の声】
今までの自分は、これで
よかったのかと振り返る
ことができました。たい
へん心に響くお話しでし
た。

第4回(11/4) 邑智中学校

◎講師 飯開輝久雄さん
◎トーク&ライブ
「いじめ・いのち・なかま・いきる」

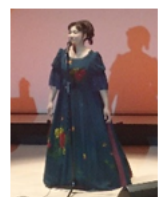


◎参加者数 133名

【参加者の声】
歌声とメッセージに、魂
を揺さぶられ、心のおも
りがはがれおち、涙と
なって流れ落ちました。

第5回(12/11) みさと館

◎講師 ちひろさん(歌手・作曲家)
◎トーク&コンサート
「金子みすゞ
・マザーテレサのメッセージ」



◎参加者数 133名

【参加者の声】
ちひろさんの歌声とお話
しに感銘を受けました。
涙、涙の時間でした。

これらの公開講演会のほか、美郷
町同推協と連合自治会の共催による
人権学習会も今後、開催予定です。

より良い生き方や豊かな社会のあ
り方を学ぶことのできる絶好の機会
ですので、ぜひ同推協人権講演会に
お越しください！

～学校・家庭・地域が協力して、子どもの教育活動支援をしています～

学校支援

学校支援コーディネーターって？

地域との連絡調整役！学校教育活動を支援してくださる方と学校を繋ぐ役割をしています。

今年度もたくさんの地域の方に支援してもらい様々な活動を行うことが出来ました。活動の中で美郷の“もの”だけでなく地域の“ひと”や“想い”を子ども達に知ってもらえるようにしていけたらと思っています。「私も協力したい!」、「美郷の子ども達の溢れでるパワーを間近で感じてみたい!」など学校支援にご協力いただける方はご連絡ください。(教育委員会 0855-75-1217 担当：森下)



鮎の放流



野菜の栽培



無農薬米の栽培

放課後支援

美郷町では、放課後や週末に子どもの居場所を作る事を目的として、放課後子ども教室を開催しています。

9月4日(日)、ゴールデンユートピアおおちで、出雲農林高等学校の移動動物園をお呼びし、マウスやヤギなどとふれあい、動物への愛護心を高める機会を設けました。室内では、地域の方を講師に、樹脂を使った小物作りも開催しました。



12月10日(土)、大和事務所で、ALTのテイラー・ドラーンさんを講師に迎え、英語活動を取り入れたクリスマスパーティーを開催しました。小1から中1までの子どもたちが楽しんで活動をしました。

3月には、ファミリースキー教室を開催する予定です。

放課後子ども教室では、地域の方に支援をしていただき、子どもたちが様々な交流や体験ができるような活動を行っていきたいと思っています。



家庭教育支援

「親学プログラム」を活用して家庭教育を支援!

『親学プログラム』とは、参加者同士が交流しながら、親(地域の人)としての役割や子どもとのかかわり方について、気づきを促すことをねらいとしている学習プログラムです。文面からは少し硬い感じがしますが、参加者の方からは、「気持ちが軽くなった!」「楽しかった!」といった声をいただいています。

今年度は、邑智小、大和小、邑智中の研修会で活用していただきました。そして2月後半には、おおち保育園でも開催する予定です。

*ここで少し親学プログラムの様子を! ☆テーマ「すてきな子育て」(邑智小研修会より)

最初に、ゲームをして心と身体をリラックス!

その後、子どもとかわる中で「感動したな!」「うれしかったな!」ということを書き出し、グループごとに話し合いました。「生まれてきてくれたこと」「毎日笑顔で『いってきます』といってくれること」等、子どものすてきなところをみんなで共有し、温かい雰囲気となりました。そうはとっても毎日の生活の中では、イライラする日もあります……。1人で考えすぎないで、みんなとつながりあってすてきな子育てができるといいですね!!といった話をみんなで交わしました。

学校だけではなく、地域での集まりや事業所などで、子どもたちのことを話す機会がある際は、是非「親学プログラム」をご活用ください。

みさとの宝である子どもたちの笑顔のために……

みんなで一緒に楽しく語り合いませんか♪



文化財クイズ これであなたも文化人!

クイズ① 今から140年前、美郷町の潮村に生まれた日本画家の名前は?

A. 中原芳煙 B. 横山大観 C. 石本 正



この人です。

クイズ② 江戸時代後期、日本全国を測量し日本地図の作成に生涯をかけた伊能忠敬。

美郷町には 1811 年測量のために訪れています。忠敬が美郷町で会いたかった、
当時九日市に住んでいた文化人の名前は?

A. 佐和善四郎 B. 佐和華谷 C. 澤 穂希



こんな字を書きました
ステキ〜♪

クイズ③ 江戸時代、大森で産出された銀は年1回農閑期に美郷町を経由して、尾道までを3泊4日かけて運ばれていました。銀が運ばれた道の中で最も当時の面影を残す、別府から湯抱までの全長6.6kmの道の通称は?

A. ロマンティック街道 B. 森原古道 C. やなしお道



こんなつづら折りの
坂があるよ。
キツイ!!

3 C. A. 江戸時代後期、美郷町を測量した伊能忠敬は、美郷町の潮村に生まれた日本画家の石本正

2 B. A. 江戸時代後期、美郷町を測量した伊能忠敬は、美郷町の潮村に生まれた日本画家の石本正

1 A. B. 江戸時代後期、美郷町を測量した伊能忠敬は、美郷町の潮村に生まれた日本画家の石本正